



取付けされる方へのお願い

この説明書は必ずお施主さまにお渡しください。

■取扱いされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

▲注意 …取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲警告



●下記のような医用電子機器を使用されている方は、操作を行わないでください。各医用電子機器に誤作動をまねくおそれがあります。

- (1) ペースメーカー等の体内埋込型機器
- (2) 人工心肺等の生命維持用機器
- (3) 装着型の心電計等

▲注意



●ケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・小さなお子さまをペットドアの近くで遊ばせないでください。
- ・ペットドアの開口部には、人の頭や手足などを入れないでください。

ペットドア使用上のお願い

●製品破損するため、下記事項をお守りください。

- ・ペットドアを持ってドア本体を開閉しないでください。
- ・ペットの通過以外には使用しないでください。

■ご使用前に

■ペットが、通過可能であることを覚えるために以下のトレーニングをしてください。

①ペットドアを開けたままにするか、取り外して以下の行為をしてください。

- ・ボール等を通過させて、通過できることを見せてください。
- ・ボール等を通過させて、一緒にペットを通過させてください。

②ペットドアを閉じた状態でペットを呼んで通過できればトレーニングは完了です。

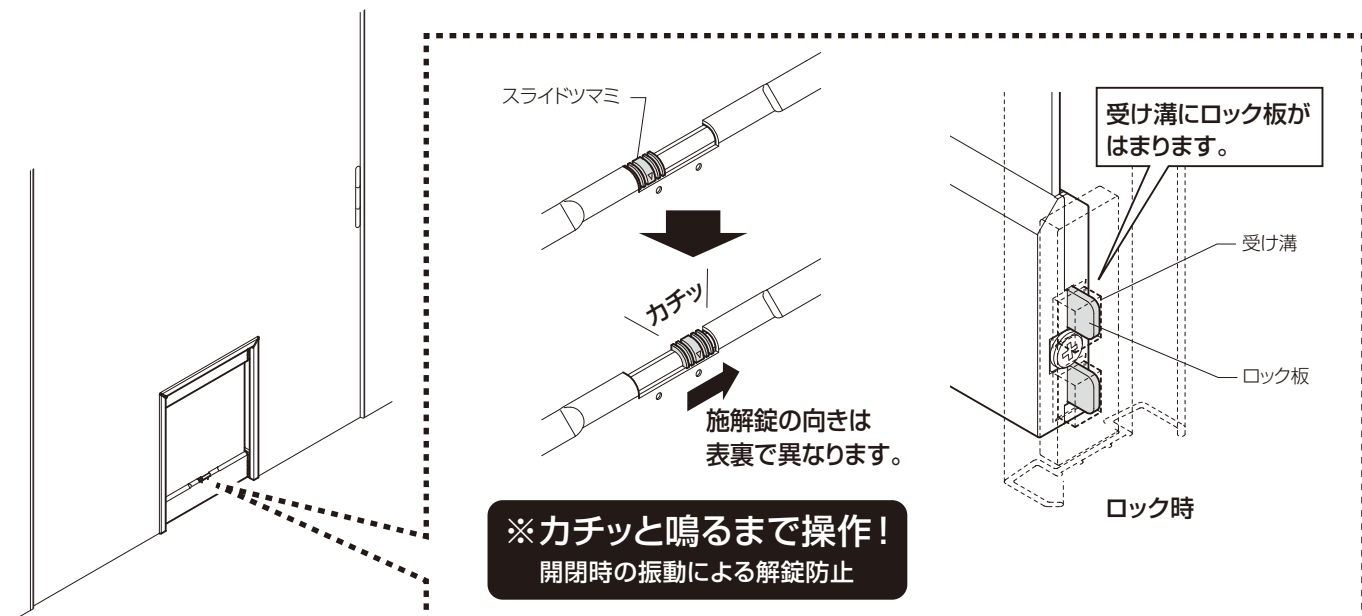
■ロックの方法

ペットの出入りを制限する場合はロックしてください。

ロックは、カチッと鳴るまでスライドツマミを操作することで、施解錠ができます。

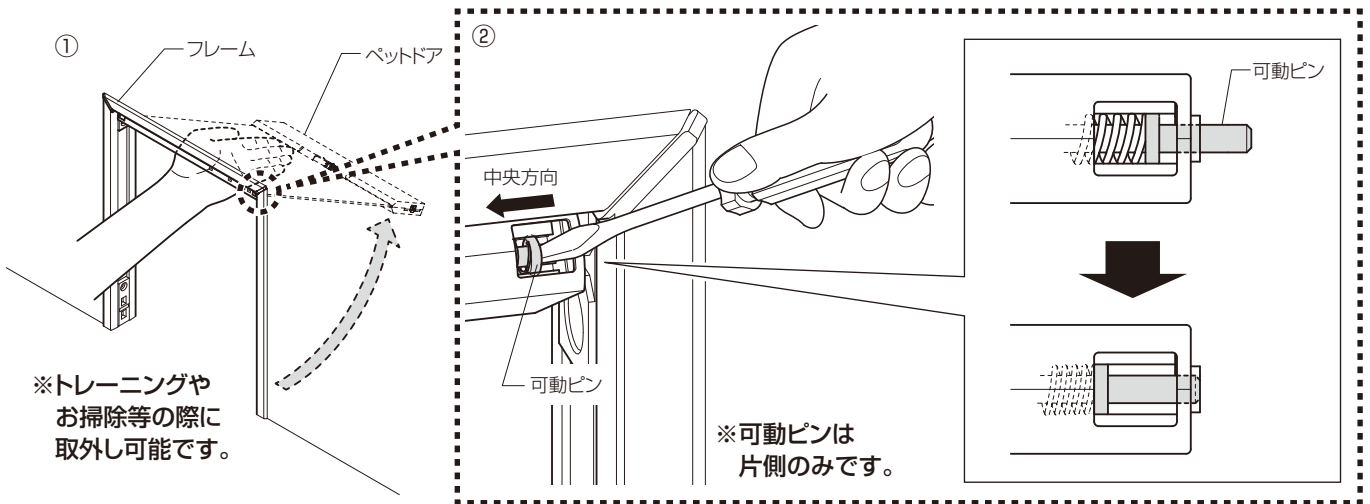
※操作は表裏どちらからでも可能です。

※施解錠の向きは表裏で異なります。



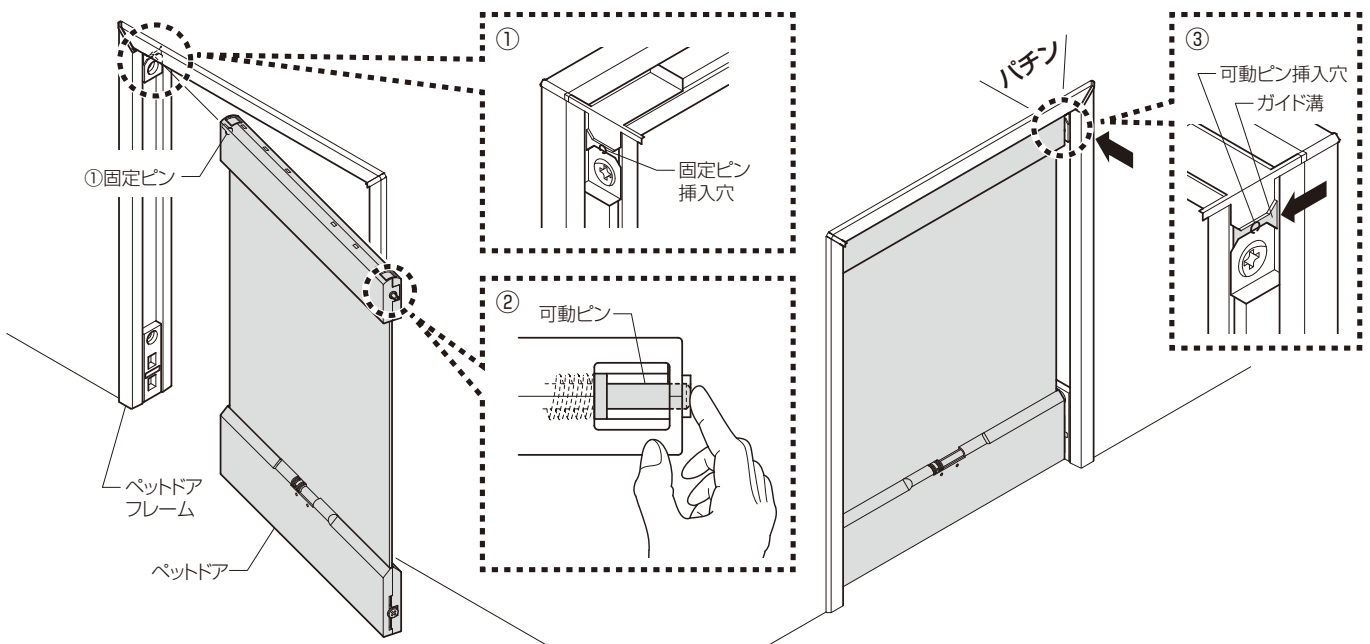
■取外し方

- ①ペットドアを持ち上げて、上面の片側にある可動ピンをみつけてください。
- ②可動ピンをマイナスドライバーなどで中央方向に動かすと、ペットドアが外れます。



■取付け方

- ①固定ピンをペットドアフレームに差し込んでください。
- ②反対側にある可動ピンを指で内部まで押し込んでください。
- ③ペットドアフレームのガイド穴にそってパチンと音がするまで入れてください。
- ④開閉確認をして外れない事を確認してください。



■商品の仕様について

- 本製品は構造上の特性のため以下の状況となりますが、問題ありません。
 - ・開閉部にすき間がありますが、開閉に必要なすき間です。
 - ・磁力を使って製品を保持するため、必ず片側のみ密着されます。
 - ・ドアを極端に速く開閉すると、ペットドアが開閉することがあります。
- ペットドアが破損した場合、交換が可能ですのでご購入先にお問い合わせください。
- 免責事項は、カタログもしくはインテリア建材取扱い説明書を参照してください。